

事業用大規模建築物における再利用計画書

《注①》

令和8年4月1日

千代田区長 様

記入例

建築物名称 ○×ビル

(3456)

建築物名称の後に、
【お問合せ番号】の
記載をお願いします。

建築物所在地 千代田区外神田1-1-6

所有者住所 千代田区外神田1-1-6
株式会社○△商事

所有者氏名 代表取締役○○○○

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

《注②》

千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例第14条第3項の規定により、事業用大規模建築物における令和8年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建築物の属性				
地上 階 地下 階 事業用延べ床面積 《注③》16,956㎡	建築物の用途			
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)	事務所	4 社	11,000㎡	
建築物の名称	店舗(飲食店を除く)	1 店	3,300㎡	
建築物の所在地	飲食店・ホテル・式場	0 店	㎡	
階数(地上・地下)	工場・研究施設	1 所	400㎡	
事業用延べ床面積	倉庫・流通センター	所	㎡	
当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可)《注④》	医療機関	1 所	100㎡	
○△企画 △△不動産 ○×物産 □□商会	その他()		㎡	
○○屋 □△医院 ◇◇研究所	住宅	2 世帯	300㎡	
在館人員 従業員(テナント従業員含む) 500人 計	共用部分 《注⑥》		2,200㎡	
《注⑤》 外来者(通学者を含む) 45人 計 545人	計		17,300㎡	
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
一般廃棄物	(株)○○商会	□□□	☆☆清掃工場	
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先		令和7年4月に設置した分別回収ごみ容器及びリサイクルボックスが定着し、再生可能な紙類等の大半がリサイクルされるようになった。
紙類	(株)○○商会	(有)□◇紙業		
段ボール	○△商店	○□産業		
厨芥	△▽商店	(株)☆☆農園		
ビン類	(有)○○センター	▽▽ガラス(株)		
カン類	◇◇興業	◇▽リサイクルセンター		
廃油	(有)●●商事	△▽油脂		
今年度の目標				廃棄物管理責任者
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減を予想される事由等				選任年月日 ○年○月○日
・焼却していた伝票類をリサイクルしたため。				廃棄物管理責任者講習会受講 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
・今年度建替え(取壊し)により、〇月より減となる。				(受講年月日 ○年○月○日)
(解体予定 令和〇年〇月頃、竣工予定 令和〇年〇月頃)				会社名 株式会社 ○○○会社
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標				所在地 〒○○○-○○○ 東京都千代田区外神田1-1-6
・再利用率を10%アップさせる。				所属名 〇〇部〇〇課 課長
3 今後の具体的取り組みについて				ふりがな ちよだ たろう
・テナント会議で処理量を減らす為の協力を呼びかける。				氏名 千代田 太郎
・ビル内を定期的に巡回して、分別状況を確認する。				電話番号 03(6260)8506 内線 ○○○

新規の建築物や
建替え・取壊し
等の予定は、
こちらに記載
してください。

《注①》 本計画書の作成年月日を記入してください。

《注②》 要綱(依頼通知文裏面の参考4)の所有者の範囲等を参考にしてください。

《注③》 事業用延べ床面積には、住宅分の面積を含めず、共用部分については、事業用途分と住宅分とに分し、事業用途分のみ加算してください。

《注④》 事業者とはテナント名です。書ききれない場合は、別紙で添付してください。所有者自身だけが入居している場合は記入しないでください。

《注⑤》 外来者は、1日平均の人数を記入してください。

《注⑥》 共用部分とは、階段、廊下、機械室、ロビー等不特定多数が使用している部分です。

再利用計画書の記入例

※提出用は「今年度計画」「対前年度」の数量欄も記入してください。

建築物名称 **○×ビル** 問合せ番号 **3456**

※令和7年度提出分より、
黄色部分を追加・変更しています。
必ず新しい書式をご使用ください。

事業系廃棄物	可燃物	紙類	前年度実績(R7年4月～R8年3月)				今年度計画(R8年4月～R9年3月)			対前年度(今年度計画－前年度実績)		
			発生量 (A)	処理区分		再利用率 (B÷A×100)	発生量 (D)	処理区分	再利用率	発生量の増減	再利用の増減	廃棄量の増減 (F－C)
				再利用率 (B)	廃棄量 (C)							
		①コピー・OA用紙	20.0t	20.0t		100.0%						
		②機密文書等(一括処理文書)	1.5t	1.5t		100.0%						
		③雑誌・パンフレット・色付き紙	7.5t	7.5t		100.0%						
		④新聞・折込チラシ	1.6t	1.6t		100.0%						
		⑤段ボール	9.5t	9.5t		100.0%						
		⑥ミックスペーパー	21.9t	21.9t		100.0%						
		⑦再利用しない紙類	5.5t		5.5t	0.0%						
		紙類小計(①～⑦の合計)	67.5t	62.0t	5.5t	91.9%						
	その他	⑧生ごみ(茶殻、残飯、吸殻等)	30.5t	20.0t	10.5t	65.6%						
		⑨木・草・繊維等	2.0t	0.0t	2.0t	0.0%						
		その他小計(⑧⑨の合計)	32.5t	20.0t	12.5t	61.5%						
		可燃物合計(①～⑨の合計)	100.t	82.0t	18.0t	82.0%						
	不燃・焼却不適物	再生利用物										
		⑩飲食用びん類	11.7t	11.7t		100.0%						
		⑪飲食用缶類	8.6t	8.6t		100.0%						
		⑫ペットボトル	3.1t	3.1t		100.0%						
		⑬食用油	0.2t	0.2t	0.0t	100.0%						
		⑭弁当ガラ	2.2t		2.2t	0.0%						
		⑮廃プラスチック	2.0t	2.0t		100.0%						
		⑯その他()	.t	.t	.t	.%						
		不燃・焼却不適物合計(⑩～⑯の合計)	27.8t	25.6t	2.2t	92.1%						
		⑰特定の事業活動に伴う可燃物	.t	.t	.t	.%						
		総合計(①～⑰の合計)	127.8t	107.6t	20.2t	84.2%						

【要確認】 ご記入についての注意事項

※①～⑥で
廃棄(焼却)
している量は
⑦へ記入。

備考 ・数量については、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの表示にしてください。
 ・再利用率は、再利用率を発生量で除し、%表示で、小数点以下第一位まで記入してください。(小数点以下第二位を四捨五入)
 ・()内は主な具体的内容等を記入してください。

記入例

令和 8年 4月 1日現在

ごみ処理・リサイクルフロー図

建築物名称	○×ビル	問合せ番号	3456
-------	------	-------	------

(区収集に出されている場合は、右「区収集」に○を記入し、わかる範囲で下記に記入してください。 区収集)

